

麻酔科専門医プログラム

定員
8名



プログラム責任者
麻酔・蘇生・疼痛管理学講座
堀口 剛 病院教授

専門研修
担当者
連絡先
木村 哲 准教授
TEL.018-884-6175 FAX.018-884-6448
E-mail kimtetsu@doc.med.akita-u.ac.jp
HP <http://www.med.akita-u.ac.jp/~masui/>



プログラムの特徴

麻酔科学とは、人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え、生体への大きな侵襲である手術に耐えられる状態を作り維持する、生体管理医学である。麻酔科専門医は、患者が安心して手術を受けられるように、手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う、患者の安全管理における最後の砦ともいえるべき全身管理のスペシャリストである。と同時に、関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも、その生体管理の知識と技能を生かし、患者のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

しかし、秋田県では麻酔科専門医が不足しており、この重要な役割を十分に提供できていないのが現状である。本プログラムでは、基幹施設である秋田大学医学部附属病院と、連携施設である秋田県内の主要病院をバランスよくローテーションすることで、十分な知識、技術、態度を備えた麻酔科専門医を育成し、秋田県、更には日本の医療に貢献することを目指している。



プログラムの説明

本研修プログラムでは、研修の前半2年間のうち少なくとも1年間、後半2年間のうち1年間は、専門研修基幹施設である秋田大学医学部附属病院で研修を行う。研修内容・進行状況に配慮して、プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように、6か月～1年ごとに基幹施設・連携施設間をローテーションする。経験目標は、小児(6歳未満)25例、帝王切開術10例、心臓血管外科25例、胸部外科25例、脳神経外科25例であるが、プログラムの早い段階で目標に到達することが可能である。

4年間の研修終了後、麻酔科専門医試験の受験資格を得ることができ、最短で大学卒業後7年目で専門医になることができる。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■各種学会認定専門医数

日本麻酔科学会指導医6名・専門医12名・認定医15名
日本ペインクリニック学会専門医2名

■指導担当医師の出身大学・高校

出身大学: 旭川医科大学、秋田大学、筑波大学
出身高校: 札幌南、釧路湖陵、秋田、秋田南、横手、米澤興譲館、宇都宮女子、栃木、富岡、熊谷、船橋、筑波大学附属駒場など

■各種学会施設認定

日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会、日本集中治療医学会、日本救急医学会、日本心臓血管麻酔学会

■主な連携病院

市立秋田総合病院、秋田厚生医療センター、大曲厚生医療センター、由利組合総合病院、雄勝中央病院、中通総合病院、本荘第一病院

取得までのキャリアパス

医師経験年数	1～2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目以降
		後期研修(専攻医研修)					
Aコース (専門医取得)	初期臨床研修 (大学病院 / 一般病院)		大学病院 (基幹施設) 連携施設 (認定施設)			サブスペシャリティ修練 学位取得	科長経験
			学会発表、論文			専門医取得	
Bコース (専門医取得+学位修得) 社会人大学院	初期臨床研修 (大学病院 / 一般病院)		大学病院 (基幹施設) 連携施設 (認定施設)			サブスペシャリティ修練 学位取得	科長経験
			学会発表、論文			専門医取得	
						社会人大学院	

◆主要なサブスペシャリティ: ペインクリニック専門医、心臓血管麻酔専門医